

## 平成26年度第2回 にいがた住まいの基本計画推進有識者会議 会議速報

### 【開催概要】

- 日時 平成26年10月28日（火） 午前9時30分～11時45分
- 場所 新潟市役所 本館6階 第2委員会室
- 出席委員 委員長 五十嵐 由利子、副委員長 黒野 弘靖、委員 朝妻 邦夫、  
委員 岩佐 明彦、委員 上野 香代子、委員 佐藤 由香子、  
委員 高松 智子、委員 林 八寿子、委員 平松 勝、  
委員 加藤 雅之、委員 池田 博俊、委員 遠藤 良博
- 事務局 住環境政策課 課長 川瀬 正之、課長補佐 清水 隆志、  
課長補佐 石渡 一彦、他3名  
委託業者（株式会社 サンワコン）3名
- 傍聴 0名
- 報道 0名

### 【会議概要】

#### 1. 開会

（省略）

#### 2. 新計画【本冊素案】（現況編）について（資料1）

課題整理までまとめた本冊素案と、現況データを補完するデータを説明。

- 委員発言概要
  - ・新計画のタイトルを「新潟市住生活基本計画」としているが、ひらがなを使うなど、やわらかい印象のものにしてはどうか。
  - ・他の政令市との比較で「ゆとりある木造一戸建の持ち家」を「新潟らしい住まいの特徴」としているが、これは旧新潟市周辺部の特徴である。「新潟らしい」という言葉の定義を検討すべき。
  - ・「課題4 住環境の魅力向上」で「農村集落における魅力ある住環境を保全・形成していく必要があります」とあるが、今あるいいものを残すという意味からは「形成」という言葉はなじまない。

#### 3. 新計画（骨子案）について（資料2、3）

基本理念、基本目標、基本的な施策の骨子案とともに、重点施策の考え方を説明。

- 委員発言概要

- ・基本理念の表現の中で、基本目標4の「新潟らしい」と関連する言葉が入るとよい。
- ・基本的施策3-2「リフォーム市場の環境整備」の中の「リフォームに関する相談体制の充実」について、用途を変更するなど大掛かりな改修を意味する「リノベーション」が最近増えているが、気を付けないと法令違反になってしまうおそれもあるので、相談体制の対象に「リノベーション」も加えた表現にすべき。
- ・基本目標や基本的な施策の中に「快適」という言葉が見当たらない。住まいには重要な要素であり、ふさわしいところに入れるべき。
- ・年齢やライフスタイルの変化に応じた住み替えが課題であることから、「ライフスタイル」という言葉を意識して入れるべき。
- ・重点施策について、基本的な施策の中から重点的に取り組むべき施策を位置付けるとあるが、一般的に重点施策というと、リーディングプロジェクトのことを指す。そのような考え方で、重点施策を挙げてみてもよいのではないか。

#### 4. 評価指標の設定について（資料4）

評価指標の設定の考え方について説明。

##### ○委員発言概要

- ・評価指標設定の考え方として、アウトプット指標を充実することによって、より確かなアウトカム指標の評価につなげるといったことがわかるように表現すべき。
- ・助成制度の利用者などにアンケートを取って、アウトカム指標につなげるという方法も考えられる。

#### 5. 閉会

（省略）

#### 【配布資料】

- ・資料1 新計画【本冊素案】（現況編）
- ・資料2 新計画（骨子案）
- ・資料3 重点施策の考え方
- ・資料4 評価指標の設定について
- ・参考資料1 前回会議における委員意見とその対応
- ・参考資料2 にいがた未来ビジョン（素案）【抜粋】
- ・参考資料3 資料編